



平成 30 年 9 月 10 日

各 位

会 社 名 日本製紙株式会社
代表者名 代表取締役社長 馬城 文雄
(コード：3863、東証第 1 部)
問合せ先 広報室長 藤田 美穂
(TEL. 03-6665-1016)

平成 30 年北海道胆振東部地震による影響について

平成 30 年 9 月 6 日 (木) に発生しました北海道胆振東部を震源とする地震により被災された皆様、ご関係の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

当社の現時点における影響について下記の通りお知らせいたします。

記

1. 被害の状況について

従業員の人的被害はありません。

また、当社は道内に、釧路工場（北海道釧路市）、北海道工場旭川事業所（北海道旭川市）、同・勇払事業所（北海道苫小牧市）、同・白老事業所（北海道白老郡）の 4 つの生産拠点をもちますが、いずれにおいても建物倒壊や設備損壊等の大きな被害はありませんでした。

2. 電力供給の実施について

道内の電力不足に対し、北海道電力からの要請に基づき、次の通り電力供給を実施しています。

①釧路工場

8 月下旬より工場設備を止め、一斉点検を実施していました。起動用受電により、9 月 7 日に電力卸売供給（IPP）発電設備を再稼働し、同日夜から 80MW の電力供給を行っています。

②北海道工場旭川事業所

自家発電を一部維持できたため、北海道電力との関係回復を受けて、9 月 7 日より電力供給を行っています。

③北海道工場勇払事業所

地震によりすべての設備を緊急停止しましたが、起動用受電により自家発電を再開し、9 月 8 日より電力供給を行っています。

④北海道工場白老事業所

地震によりすべての設備を緊急停止しましたが、起動用受電により自家発電を再開し、9 月 8 日より電力供給を行っています。

3. 紙の生産・供給について

北海道工場旭川事業所では操業を一部継続していますが、同・勇払事業所、同・白老事業所では設備の点検や再稼働の準備を進めている状況であり、生産再開には至っていません。また、釧路工場では、停電により中断していた点検作業を 9 月 8 日に再開しました。いずれにおいても、道内の電力状況を見極めながら対応してまいります。なお、製品の供給につきましては、保有在庫で対応していますが、必要に応じて全国にある当社の他工場によるバックアップ体制を取ってまいります。

4. 業績への影響

現時点では軽微と思われませんが、重大な影響が見込まれる場合には速やかに開示します。

以 上